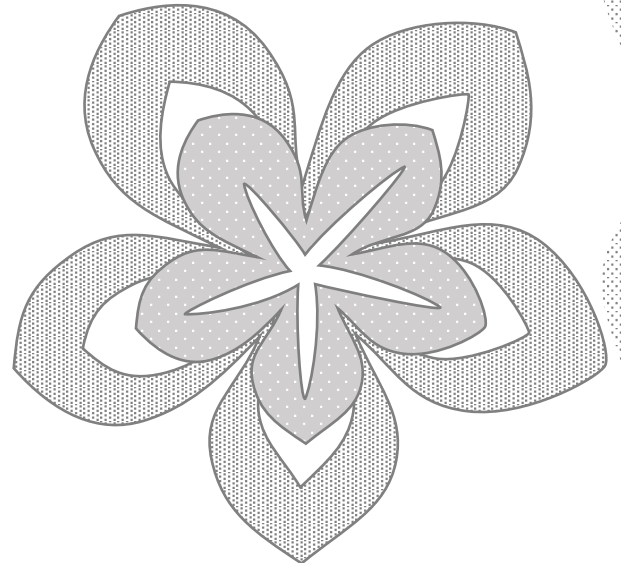


平成 29 年度

自治振興区
活動促進補助金

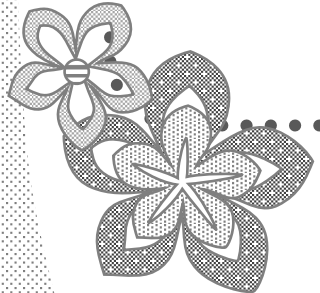
実績報告書





目次

平成 29 年度 自治振興区活動促進補助金 実績報告書

- 「歴史的資源を活用した地域づくり事業」 山内自治振興区 1
 - 「人や町が元気になる自然公園整備事業」 比和自治振興区 2
 - 「集会所での地域活動を充実するための施設設備の整備事業」
敷信自治振興区 3
 - 「『わしは百まで』『あんたも百まで』みんな久代に住んで生き生き！事業」
久代自治振興区 4
- 

自治振興区名	山内自治振興区
事業名	歴史的資源を活用した地域づくり事業
事業費	1,685,880円（うち補助金：1,348,000円,自主財源 337,880円）
事業内容	<p>山内自治振興区では、振興区内の歴史的資源を活用し、地域の活性化につなげてきた。しかし、将来の担い手である小学生が山内の歴史を理解し、より山内に愛着が湧くような冊子がなく、山内の歴史的資源の史実を説明できる人材も少なくなってきた。そのため、子ども、保護者、祖父母の三世代間で歴史意識を深めるとともに、郷土愛をさらに高め、地域住民の一体化・活性化を図ることで将来の地域づくりにつなげることを目的に、冊子とマップの作成及び説明看板の設置を行った。</p> <p>○甲山城の歴史や史跡の冊子作成 小学校高学年にも理解できる内容で、甲山城の歴史や史跡についての物語をまとめた冊子を作成し、振興区全戸と地域の子どもたちに配布した。</p> <p>○史跡をめぐるマップの作成 山内の歴史と史跡をまとめたマップを作成し、振興区内全戸と地域の子どもたちに配布した。</p> <p>○甲山城跡の説明看板の設置 甲山城跡の説明看板を設置し、来訪者へ看板を利用し説明を行った。</p>
効果・変化	<p>○小学生が理解できる甲山城の歴史の冊子と史跡をめぐるためのマップを作成したことにより、三世代で歴史を共有でき、郷土愛を深めるとともに地域の活性化に寄与することができた。</p> <p>○作成した冊子等を利用し、小学六年生に地域学習の中で山内の歴史について説明を行ったことで、郷土史への関心を高め、郷土史研究会へ小学生の加入があった。</p> <p>○作成した冊子とマップについて市内外から問い合わせがあり300冊あまりを配布し、甲山城跡・円通寺・日吉神社への来訪者も増加した。また、来訪者に対し、設置した説明看板を利用し説明を行った。（来訪団体3団体・62名）</p> <p>○自治振興区の郷土史研究会を中心にマップを協同で作成していく中で、一体感と歴史認識が高まり地域の活性化につながってきた。</p> <p>○冊子とマップを作成し広く配布したことと、甲山城の説明看板を設置したことで、訪れる人が増加し地域の活性化につながっている。</p>
写真	<p>作成した説明看板で来訪者に説明 三原市郷土史研究会来訪（8名）</p>   <p>作成した冊子とマップ</p>  <p>百働会来訪（12名）</p>  <p>福山備陽史探訪の会来訪（42名）</p> 

自治振興区名	庄原市比和自治振興区
事業名	人や町が元気になる自然公園整備事業
事業費	1,561,064 円（うち補助金：1,248,000 円,自主財源 313,064 円）
事業内容	

比和自治振興区では、古くから地域住民に親しまれてきた自然公園の再生に平成 23 年から取り組み、「比和下町公園」の整備を行ってきた。しかし、歩道や手すりの不備など安全確保ができておらず、利用者の増加に伴い、事故が起きる可能性が高くなっていった。そのため、魅力ある地域資源として、更なる整備や他の資源との一体化した利活用を図るために、公園の整備を行った。

○サクラ・シャクナゲの管理

名所となるよう、サクラ・シャクナゲの手入れ、草刈、蔓刈等を実施した。

○案内・説明看板の設置

由来等の説明看板，方向指示案内版等を設置した。

○安全確保・公園の一体的管理

歩道の危険箇所の補修，手すりの改修を行った。

休憩所・歩道・手すりの維持管理及び眺望確保のための樹木の管理，山野草の保全を行った。

効果・変化

○案内看板・由来等の説明看板を設置したことで、公園の周知につながった。町民だけでなく、まちなか散策を行う観光客の関心を引くようになった。（下町公園に登ったことを話題にする者が増えた。観光客が公園入口のビューポイントから町並みを見ていることがある。）

○自然公園として歩道や手すりが整備され、樹木の手入れが行われるようになったため、地元住民の季節に応じた活用が増えた。（花見，森林浴・避暑，紅葉狩りなど，以前は個人での利用がほとんどであったが現在はグループでの利用が増えている。）

○公園を安全に利用できるようになったため，自治会やサークルの健康づくりメニューとして活用されるようになった。（整備前は健康づくりの場としての利用はなかったが，現在はノルディックウォーキング講習会などで利用されている。自治会などで定期的な利用が検討されている。）

○比和自然博物館に訪れる観光客にまちなか散策と合わせて手軽な森林浴として紹介することができるようになった。今後はあけぼの荘と合わせて観光コースとしてアピールしていく。（自治振興センターに公園を紹介する掲示物を作っている。まちなか散策を希望する約 20 組に対して紹介を行った。）

写真



まちなかを見渡せる比和下町公園



案内看板を見て関心を示す観光客



花見や紅葉狩りなどで自然を楽しむほか
ウォーキングなど健康づくりの場として利用

自治振興区名	敷信自治振興区
事業名	集会所での地域活動を充実するための施設設備の整備事業
事業費	490,000円（うち補助金：392,000円,自主財源98,000円）
事業内容	

敷信自治振興区の新庄東自治会では、年間を通して集会所を拠点に地域活動を実施しており、集会所の利用頻度はきわめて高い。しかし、夏季においては空調設備が整っておらず、暑さ対策が十分とはいえないため、季節的に各活動の参加者が減少し活動に支障をきたしていた。そのため、地域活動の継続と充実を図る事を目的にエアコンの設置を行った。

○エアコンの設置と各地域活動の実施

老人部と生活福祉部による交通安全教室・健康講座・防犯教室、手芸教室・誕生会や懇親会などでの利用。
 青年部「愛郷会」と壮年部の頼母子集会での利用。
 地域行事の計画実施及び反省会等での利用。

効果・変化

- 老人部は生活福祉部と連携して、毎月デイホーム事業で交通安全教室・健康講座・防犯教室・手芸教室・誕生会などを実施しているが、夏場は参加者が減少し平均15名程度で実施していた。しかしエアコン設置後は20名を超える参加者があり（多いときで25名程度）、参加者の増加につながった。
- 壮年部や青年部の活動は全て夜に行われ、終業後の集まりであるため、夏場は部員が疲れた状態での活動であった。しかし、エアコンが設置され快適な環境となったことで、活動が充実したものとなった。
- 太鼓打ちの練習は小学生を中心に夏～秋の夜実施するが、周囲への騒音に配慮し、戸を閉め切った蒸し暑い状態では集中力を欠くことも多く、指導に苦勞していた。しかし、エアコンが設置されたことにより、集中力を維持しやすくなったため、より充実した指導を行えるようになった。
- 活動環境が改善されたことにより、地域活動への参加意欲の改善につながっている。

写真



自治振興区名	久代自治振興区
事業名	「わしは百まで」「あんたも百まで」みんな久代に住んで生き生き！事業
事業費	264,400円（うち補助金：211,000円,自主財源53,400円）
事業内容	

久代自治振興区では、今まで地域内においてサロン事業を実施していなかったが、平成29年度からは福祉活動を充実させ、高齢者の地域参加を促し、日頃から地域との繋がりを持つことによる孤独死の防止を目的に、サロン事業に取り組むこととした。しかし、サロン事業実施に係る知識や経験が不足していたため、平成30年度のサロン事業の本格的な実施に備え、地域住民に集いの場の形成を促すための基礎及びサロン事業を実施していくための基礎作りとして事業を実施した。

○魅力あるサロンの実施

- ・地域外から講師を招き、サロンの開催。
- ・東、中、為重支部において各3回サロンの開催。（計9回）

○サロン活動に必要な事務機器の整備

- ・専用パソコン、プロジェクター、スクリーンを整備し、元気づくりサロン、認知予防教室等での活用。

効果・変化

サロンの実施を通して、高齢者の地域参加を促すと共に、地域課題の把握・解決への一助となった。

○各支部においてサロンを開催したことにより、高齢者の地域参加を促すきっかけとなり、久代自治振興センターで行われる行事に参加しない人が参加するようになった。

○サロンを通して、安否確認や生活状況の確認、困りごとの相談などの情報交換が行われ、地域の生活実態の把握が円滑に行われるようになった。

○回数を重ねるごとにサロンを楽しみにされる方が増え、次年度以降の定期開催につなげていくための基礎ができた。今年度は地域マネージャーによるサロンの運営を行い、定期実施につながっている。

○サロンによる情報交換を通して出た地域課題について、振興区や支部の役員会等で協議し、課題解決に努めた。

○情報機器は、サロン活動を含め振興区の広報活動等に有効活用できた。

写真



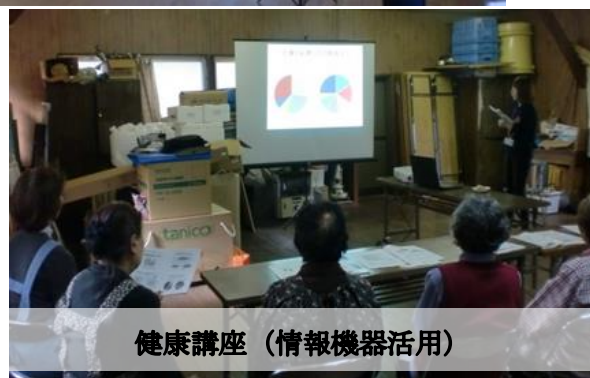
東支部サロン（講師による説明）



為重支部サロン（歌とゲームで体も心も元気）



中支部サロン（みんなで食べればうまい）



健康講座（情報機器活用）